

経営比較分析表（令和3年度決算）

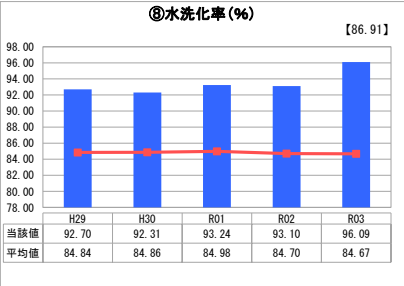
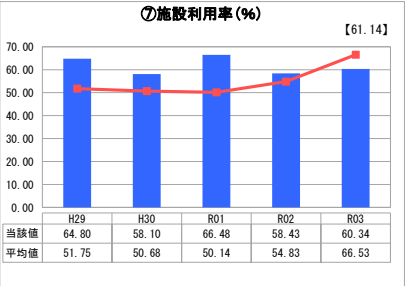
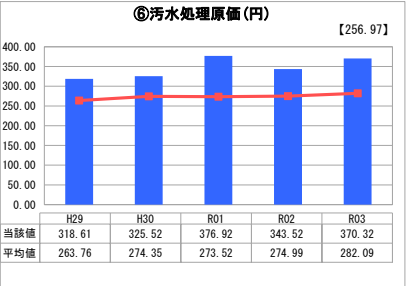
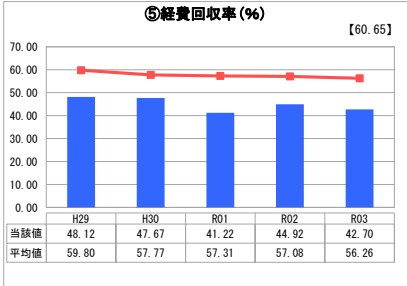
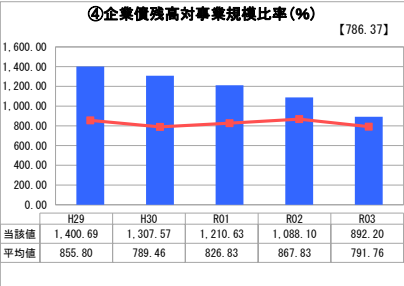
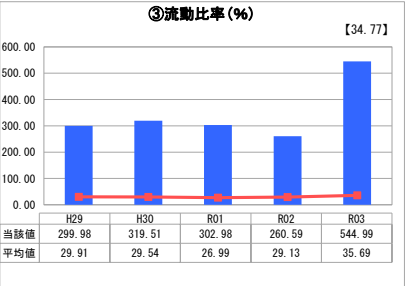
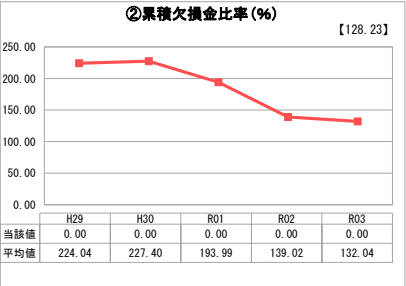
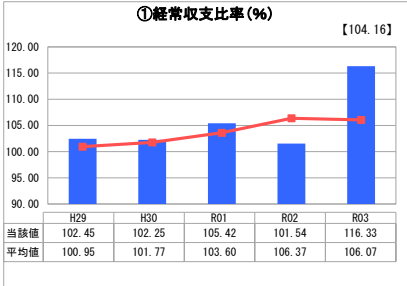
埼玉県 日高市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	89.63	0.56	88.25	2,761

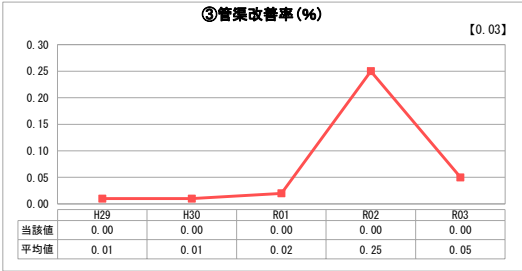
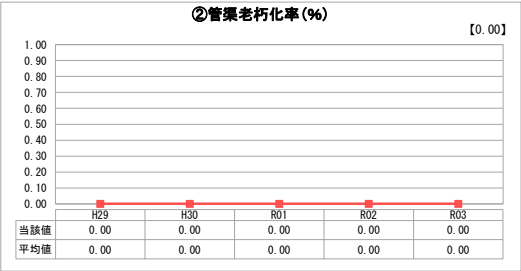
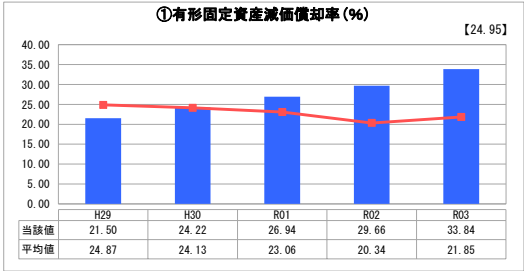
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
54,852	47.48	1,155.27
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
307	0.14	2,192.86

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

※2地域での構成でしたが、令和3年度決算から1地域を公共下水道に編入したため、件数等も半減以下となり、全体的に影響があります。

①一般会計からの繰入金により収支不足を補填しているため、黒字となっています。

②累積欠損金は発生していませんが、一般会計からの繰入金で、収支不足を補填しています。

③指標値が100%を超えており、安定していると言えますが、一般会計からの繰入金に依存している状況です。

④処理区域内の人口密度が低い地域に施設整備を行ったため、使用料収入が少なく、指標値は高い数値となっています。施設整備は既に完了し、今後の新規投資はないことから、企業債の償還が進み、指標値の数値は減少していく予定です。今後、公共下水道事業への編入を進め、事業の効率化を図ります。

⑤水洗化率の向上に努め、使用料収入を確保し、かつ、維持管理費の縮減に努めます。

⑥④と同様の理由で、指標値は高い数値となっています。今後も維持管理費の縮減に努めます。

⑦上記※印の理由により、指標値は平均値を下回っています。決して高い施設利用率ではなく、経費回収率も低いいため、下水道事業全体の施設利用率の適正化の観点から、公共下水道への編入を進め、事業の効率化を図ります。

⑧指標値は平均値と比較すると、高い水準にありますが、引き続き未接続家庭に普及促進していきます。

2. 老朽化の状況について

①農業集落排水事業は、平成13年度の供用開始から20年が経過しています。1の※印の要因もあり、指標値が微増しています。

②法定耐用年数を超えた管渠はありませんが、今後予定されている管渠の更新を見据え、点検等を計画的に行います。

③今後発生する管渠の更新工事については、費用対効果を検証し、効率的に実施していく予定です。

全体総括

令和3年度末における農業集落排水事業の経営状況は、経常収支が黒字であること、累積欠損金がないこと、翌年度の支払資金も確保されていることなどから比較的経営は安定していることが伺えますが、これは一般会計からの繰入金により収支不足の補填を行っているためです。

農業集落排水事業は、処理区域内人口密度が低い地域において施設整備を行っているため、汚水処理原価は割高になっています。これを使用料収入で賄うことは、利用者の負担が過度となる恐れがあるため困難な状況です。

1の※印にあるように、2地域での構成事業でしたが、令和3年度から1地域を公共下水道に編入しました。今後、処理費用の縮減のため、公共下水道への編入を進め、事業の効率化を図ります。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。